

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)  
 分担研究報告書

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

研究分担者 氏名 海渡 貴司 所属機関名 大阪大学 整形外科

研究要旨

頰椎後縦靱帯骨化症の経時的变化を 3 次元データ解析を用いて検証した。背側方向への骨化増大を検出する新たなソフトウェアの使用により、従来法では検知できなかった変化を新たに検知することができ、骨化途絶部での動的因子が骨化増大の危険因子である可能性が示唆された。

A．研究目的

後縦靱帯骨化症（OPLL）における骨化巣の経時的变化を 3 次元データ解析で詳細に検証し、その危険因子を明らかにすること。

B．研究方法

当院通院中の OPLL 患者のうち、過去に一定期間以上空けて複数回 CT 撮影されたものを対象とし、正確な 3 次元画像重ね合わせ技術によって骨化増大部分を検出する。本研究は過去の CT データを使用した研究であり、対象者に新たな被曝は生じない。

C．研究結果

背側方向への骨化増大を選択的に検出可能な新たなソフトウェアを開発することにより、従来法では検知できなかった変化をいくつかの症例で検知し得た。

D．考察、

骨化途絶部での動的因子が骨化増大の危険因子となる可能性があり、症例数を増やしていくことが望まれる。

E．結論

OPLLの背側への増大を検出する方法が確立された。今後の応用が期待される。

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G．研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他